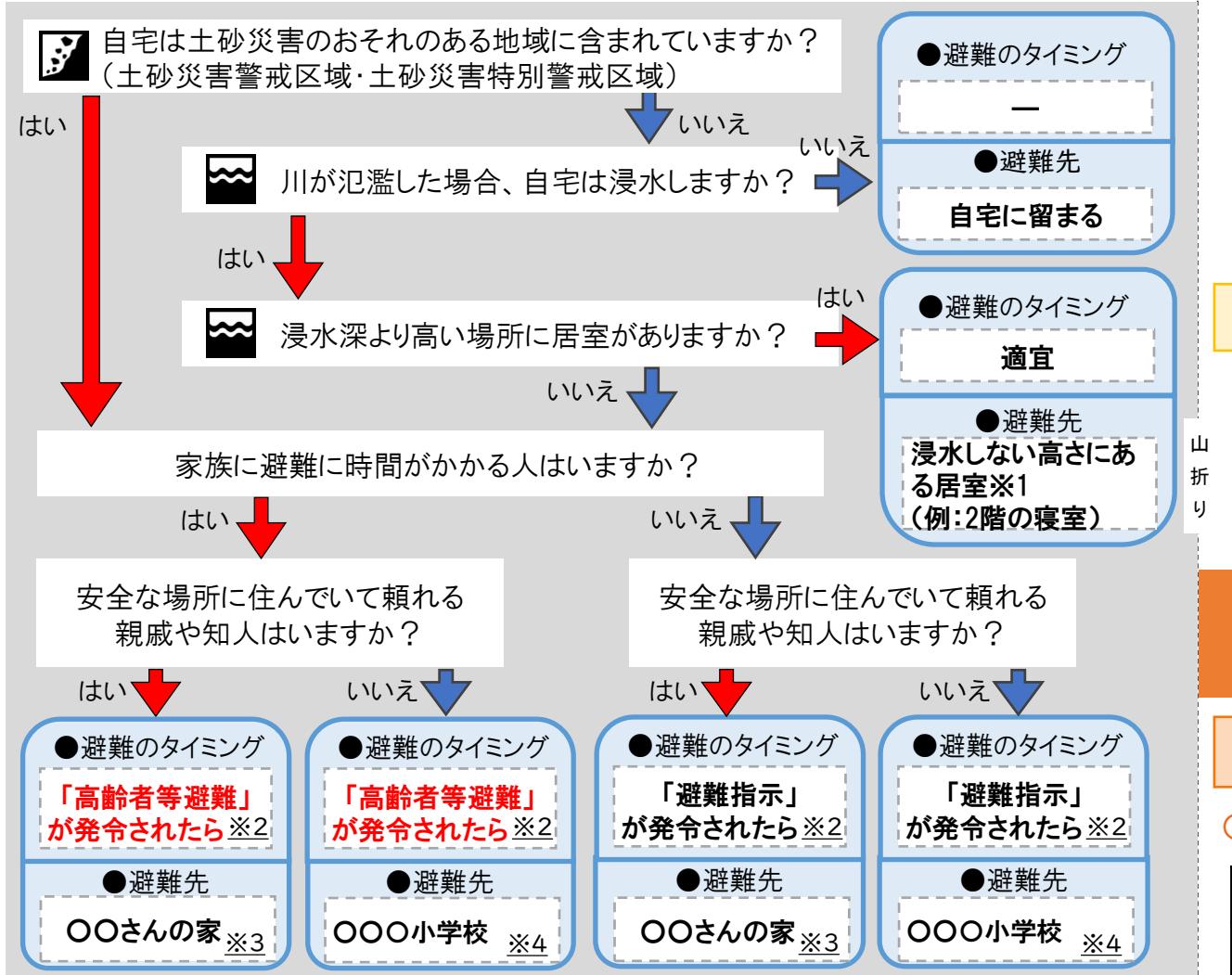


大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

- Ⓐ 下図を参考に、避難先・避難のタイミングを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。



※1 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などの持ち出し品を準備しておこう！

※2 高齢者避難が発令されるよりも前に「自主避難所」が開設されている場合もあります。
区長さんなどに聞いてみて、可能な限り早期の避難を心がけよう！

※3 親戚や知人の家には、安全に避難できるうちに避難しよう！

※4 被害状況によっては、開設される避難所が異なる場合があります。

下の「伊豆市情報メール」や「FMIS(87.2MHz)」などから避難所の解説情報を確認しよう！

- ① 下記を参考に、情報収集手段を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう。

市内の高齢者等避難や避難指示、
避難所の情報

・伊豆市
情報メール



・FMIS(87.2MHz)

県内の高齢者等避難や避難指示、
避難所の情報、河川の情報等

・静岡県
防災アプリ
・その他アプリ



・テレビ
・ボタンで
情報表示

わたしの避難計画 作成ガイド

目次

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認



地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入



大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

P1

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

P2

P3

P4

はじめに 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。
避難支援の相談先：地元の民生委員、伊豆市社会福祉課



地震

※伊豆市では震度6弱以上が想定されています

地震① 大地震発生時の行動を確認し、安否確認方法を記入

○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につきまりたいと感じる	物につきまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○大震発生時の行動

大震発生

- 体勢を低くし、固定されたテーブルなどの下に入り頭を守る
- 動かずじっとする

揺れが収またら

- ブレーカーを落とす
- ガスを止める

各地区的
安否確認
方法に従う

自宅に被害があつたら
指定避難所へ避難

自宅に被害がなかつたら
自宅で待機

※災害時の集合場所へ避難するなど、地区の安否確認方法を確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう！

大雨(河川氾濫・ 土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ハザードマップで河川氾濫、土砂災害による危険を確認し、「わたしの避難計画」左側大雨①にチェック☑しましょう。

凡例(重ねるハザードマップ)

「河川氾濫」の危険について

洪水浸水想定区域

(想定最大規模)

20m ~
10m ~ 20m
5m ~ 10m
3m ~ 5m
0.5m ~ 3m
0.5m ~ 1m
~ 0.5m
~ 0.3m

「土砂災害」の危険について

急傾斜地の崩壊



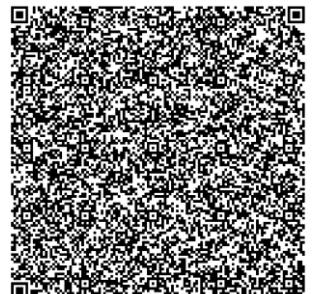
土石流



地すべり

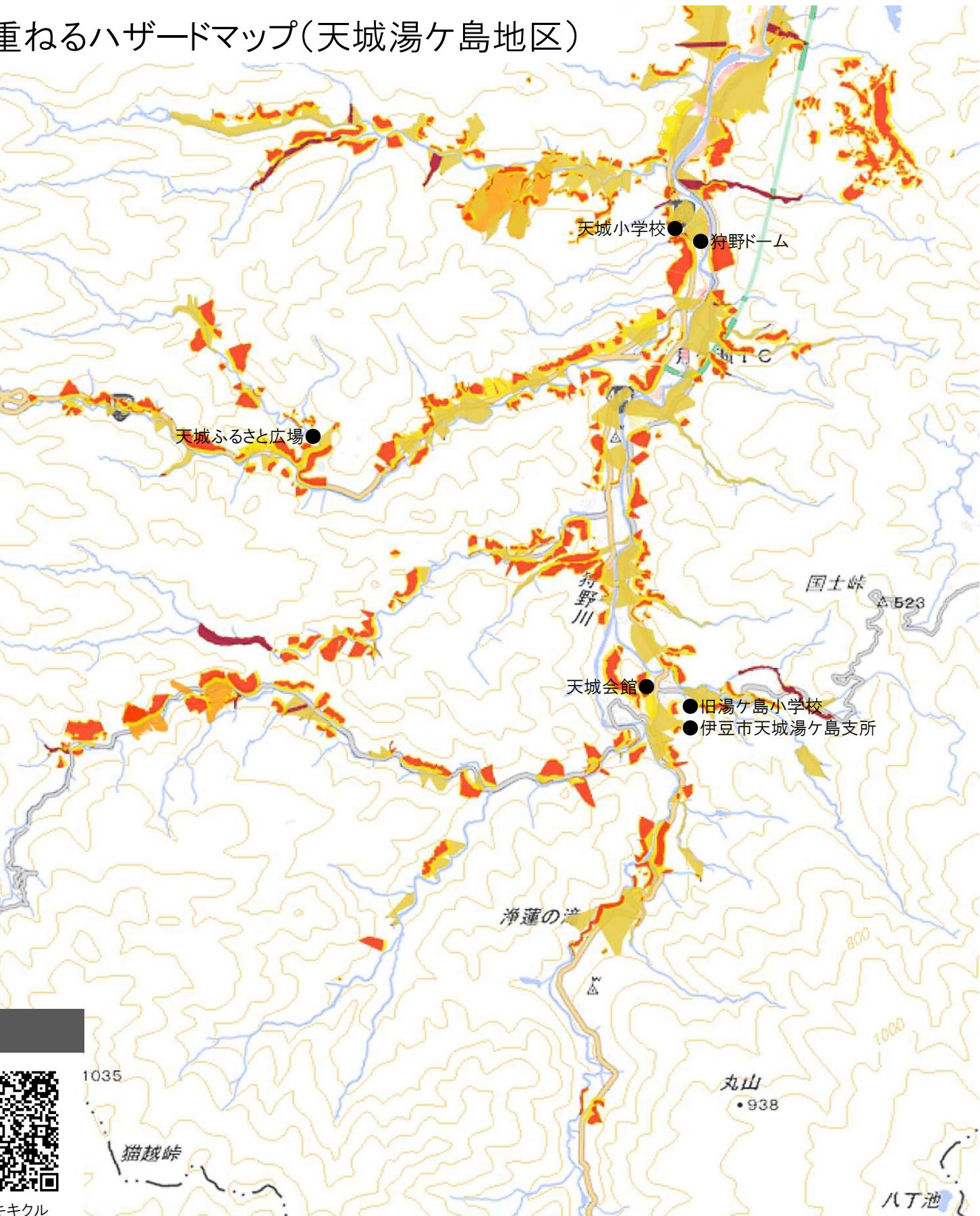


デジタル版 重ねるハザードマップ



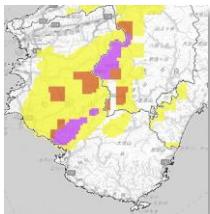
※「情報」メニューから
「土砂災害」「洪水」を
選択してください。

重ねるハザードマップ(天城湯ヶ島地区)



(参考) 土砂災害の危険度が「土砂キキクル」で確認できます！

土砂キキクルが「非常に危険」以上の場合は、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域にお住まいの方は、速やかに避難を開始しましょう。



土砂キキクル
(気象庁)

